【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2016-5606(P2016-5606A)
【公開日】平成28年1月14日(2016.1.14)
【年通号数】公開・登録公報2016-003
【出願番号】特願2015-171817(P2015-171817)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成28年2月9日(2016.2.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可変表示を行い表示結果を導出表示する遊技機であって、
可変表示を仮停止させる停止制御を行う停止制御手段と、
遊技者によって操作可能な操作手段と、
を備え、
前記停止制御手段は、操作演出において前記操作手段に対する操作が行われたときに、前記操作演出の結果として所定の停止態様で仮停止させ、再度可変表示を行い、
仮停止が所定回なされたときに、特定のリーチ演出を実行可能であり、
前記操作演出において前記操作手段に対する操作が行われないときにも、再度可変表示を行い、
仮停止の回数に応じた所定演出を実行する、
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記目的を達成するため、可変表示を行い表示結果を導出表示する遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、可変表示を仮停止させる停止制御を行う停止制御手段（例えばステップＳ５７４又はＳ６７４の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、遊技者によって操作可能な操作手段（例えばスティックコントローラ３０など）と、を備え、前記停止制御手段は、操作演出において前記操作手段に対する操作が行われたときに、前記操作演出の結果として所定の停止態様（例えば４つのコイン図柄の組合せ）で仮停止させ、再度可変表示を行い、仮停止が所定回なされたときに、特定のリーチ演出を実行可能であり、前記操作演出において前記操作手段に対する操作が行われないときにも、再度可変表示を行い（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が、ステップＳ６９４において、再変動タイミングであると判別した後において、ステップＳ６９０において、飾り図柄について再変動を開始させること）、仮停止の回数に応じた所定演出を実行すること（例えば

、「擬似連」の可変表示演出による各変動表示（初回変動を含む）の期間中に、遊技領域の内部又は外部に設けられた複数の装飾用ＬＥＤのうちで点灯されるものが１つずつ増えていくように制御されることなど）を特徴とする。